

明けましておめでとうございます

令和六年・辰歳の新春を迎え、誰しもが良い年であるように願い寿いでいるのですが、果たして今年はどのような年になってゆくのでしょうか？

「竜」は多くは水中に住み、天に昇り雲を起こして雨を降らす霊獣として神格化され日本では龍神・九頭龍のように神として祀られ 信仰の対象とされてきました。

干支では辰の方位は東南東、辰の刻は午前8時を中心とする約2時間。「辰」の字は「ふるう、ととのう」を意味する「振」で、陽気が動いて万物が振動し、草木もよく成長して形がととのった状態を表すと言われています。

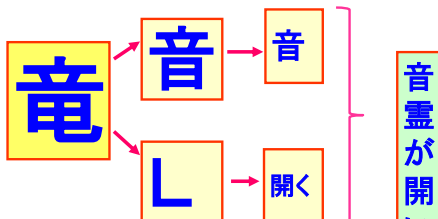
竜を字割すると、音を開く意味が出てきます

「令和」に入って初めて迎える辰年を光透波の字割で読み解いてみることにいたしましょう。令和の年号には「霊性と和す」の意味が秘められています。「辰」は「竜」。「竜」の字は左下図のように読み解けてきます。

「竜」は「音」+「L(開く意味)」の合成文字。すなわち「音」が開かれる意味が「竜」ということです。「音」は「コトバ」に展開されます。したがって新年は「言葉が開かれて霊性と和してゆく年」と解せるようです。

「音が開かれる」とは「言葉の戸が開かれる」、「言戸(イウト) = 言答」→「岩戸が開かれ」、そして霊性がますます高まってゆく年を迎えたことを意味しているのです。

言戸 = 岩戸が閉ざされた暗黒の時代から、光明の時代へ



「竜」とは、音が開く様を表現した文字です。音→言→言波が開かれる意。言戸=イウト=岩戸。霊性に和す令和の竜年には霊性の岩戸が開かれる意味がある。

竜には元素音なる

音霊が開いた意義



竜は神の化身と崇められ信仰の対象とされる霊獣

今までの人類の足跡は岩戸 = 言戸が閉ざされていました。そして人々は体主霊従の物・金・エゴに囚われて対立抗争、戦乱と混乱の歴史を辿ってきました。その暗黒の時代がようやく終焉を迎え、いよいよ霊性主体の共存・調和の時代が幕開けして、一段と光の時代を迎えることになってゆくと読み解けるのです。その夜から昼の時代の大転換に伴い、今まで世界の政治・経済・社会・マスメディアを支配コントロールし、コロナワクチンに象徴されるように人々を苦しめてきた元凶である闇の勢力 = DSが、いよいよ崩壊してゆくようになるのです。それに伴い大きな混乱が予想されるようですが、それは悲観することではなく大局観に立

てば、生みの苦しみであることを忘れてはならないようです。

何事があっても、何事が起きようと、確実に人々が願い求めてきた光の世界、物心調和、共存共栄の時代が開かれてゆくことは間違いのないことなのです。ですから私たちは表面上は混乱と厳しいことが起きても、ポジティブに受け止めて宇宙のご意図に沿って、明るく希望を燃やして前進してゆくことが求められているのです。

「言」を「成」す「誠」の心こそ、混乱の世を救う道

今までの言葉の岩戸が閉じられていた時代、人々は言葉の本質、重要性に気付かず言葉を道具の一つのように誤認して、乱れた言葉、偽りの言葉、波動の荒い言葉、不誠実な言葉を乱用し続けてきました。その言葉の乱れ→波動の乱れ→心の乱れ→世の乱れとなって、人類は苦悩と混乱の歴史を辿って来ていたのです。

これからの時代は、人々が霊性に目覚め言葉の戸が開かれ、真言(まこと) = 誠(言を成す)、言葉と行動が一致する生き方へ移行していく時代が到来しているのです。

令和の時代で最も心しなければならぬのは「言」を「成」すと書く「誠実」な言葉ではないでしょうか？「誠実」

さが無ければ、嘘とエゴと強欲で塗り固められた今日の混乱と破滅への流れを止めることは不可能なのです。

世の指導者も一般の人達も一人一人が言葉を大切に、そして「誠」の心を心掛けることにより、物・金・エゴで穢された汚濁の世相から「おさらば」することが出来るのです。「竜」→「言戸が開く意味」の新年は、そのスタートの年となって欲しいものです。

光透波は言葉の神性を学び幸せを導く哲理です

言葉の乱れが世の乱れの根本原因になっているのですから、今日の世界的な混乱を救う道は、人々が言葉の神性に目覚め言葉を清く正しく「活用」する、言葉どおりに実行する「誠」によって開かれてゆくのです。

光透波は言葉の神性を読み解く文字の言霊学であり、同時に文字の奥に秘められた真理を探究して、これからの時代の活路を開く哲理でもあります。「竜」の年、言戸を開く新年を迎え、是非ご一緒に新時代の言霊学を学んでみませんか？詳しくは本誌で紹介している各地開催の光透波セミナーへ……。必ずや明るい希望と幸福への道が開かれてゆくものとお奨めいたします。

文責 宿谷

命波の會園

連載 — 15

第3部、堀尾泉實氏の追悼講演の主旨

【前号から続く】明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願ひ致します。

今年の甲辰の甲は大樹とも言われていますことから辰とは龍ですので、それは大樹の大龍でもあります。なれば今年には龍神様のお出ましを心から公私共々お待ちしております。

私事ではありますが、36歳の時、金龍の雄雌二体が目の前にお出ましになった体験をしています。時が来ていますので、今年こそお力添えを願っています。

さて、緊急出版記念講演の会場には大切な方々が北海道・東京・横須賀・中部圏・京都・兵庫からご出席くださり、改めてお礼申し上げます。誠にありがとうございました。先回は講演会の1部と2部を綴らせて頂きました。今回は講演会の第3部である兄・堀尾泉實を追悼する講演として「ことばで生きている」をテーマに、堀尾君子がお話をさせて頂きました。その内容を以下記させていただきます。



コロナの影響を越えて大盛況であった講演会場の模様

霊的導きで小田野先生と私共家族は結ばれる

実光透波命波理論の創始者であります故小田野早秧先生と、兄の故堀尾泉實との不思議なご縁の出合いの14年間は、突き詰めて観ますと精神の本質の生命の真理を注入されて本質の愛の学びの期間であったと思えます。

小田野早秧先生とお出会いする20日前の1974年(昭和49年)3月3日に私、君子が車の中で突然靈感状態となり「愛を許す、物はいらぬ、早う的矢に行け、いそべに行け」と声が出ました。そしてその霊的な現象が兄に移り「天と地に橋を架けよ、それは神々が降りられる橋を」と兄の口からことばが出ました。

要約しますと10日後、兄が靈感状態を切りました。その日が3月13日小田野先生の誕生日でした。そして、3

「命波学教本」堀尾泉實著 命波学＝光透波理論習得の必読のテキストです。定価2500円

ご希望の方は、實光透波研究会 名古屋市東区香南1-103-8-201 堀尾 君子

メールアドレス s8910kimiko@yahoo.co.jp 090-8499-5989まで

月23日名古屋千種区にて開催された小田野先生の言語エネルギーの3日間の講演講習会に、兄が参加したご縁から名古屋での命波学の活動が始まりました。

そして小田野先生は堀尾家に14年間宿泊するようになって、東京田園調布と名古屋の往復を重ねながら、兄に心血を注いで命波学を教授くださり、次第に命波の仲間が拡がると共に何時しか自宅が学び舎になっていきました。(詳細は命波の會図第1回を参照ください)

当時、私共は20代から30代の未熟な時代でもあり、今思えば辛いことも当然ありましたが、経験しがたい面白く楽しい時代だと思っています。小田野先生とは不思議な霊的な繋がりのご縁によって、母・兄・私と小田野先生は4人家族同様に生活させて頂きました。

天啓によって小田野先生は命波理論を確立される

小田野早秧先生が命波理論を導き出された最大の切っ掛けは、天意からの霊的啓示の数々によってその骨子は出来上がっています。勿論、小田野先生の幾何学や文学好きの気質などを総動員されて、天意はご誘導なさったと思わざる得ません。

先生を導かれた最初の啓示は昭和24年1月14日、絶対光・黄金の光に4時間以上包まれました現象です。その経緯は省きますがこのご体験から「第二のリアル」とご自身で命名されました。現実のリアルを第一のリアル、抽象のリアルを第二リアルと仕訳けられました。

そして次々と命波へと結ばれる必要な啓示が起こされてゆきました。昭和28年5月の「光透波」の文字が顔に飛び込んでくる現象。翌6月22日「天鏡」と胸に刻印された現象。

同6月25日には「アイエオカキクケコサ」の11文字の表意字を霊夢により見させていただく。それを契機に小田野先生は50音図表の一音一音に天に通じる表意字を選び入れ始められたのです。そして4年4か月と6日を費やして、遂に「天鏡図」が作成されました。

この天鏡図は宇宙の創成から人類の誕生、人類の意味、進化に至る壮大な天意の愛に満ちています。

小田野先生と兄・堀尾泉實のタッグで命波学理論は確立される

その啓示を踏まえて命波理論・言語エネルギー論が出来上がり、名古屋に携えて来てくださって心血を注いで兄に教え込まれたのでした。そして小田野先生の指導と兄の尽力によって、命波を少しでも分かり易く体系化して36時間の講座の骨子の命波学理論が出来上がりました。その後、二人は二人三脚のようにして名古屋・東京を始め全国各地で命波学を普及する講演を展開してゆくことになったのです。

その後、天のお導きか？至らないことにより小田野先生と私共兄妹との別れがありました。が、紆余曲折を経て2018年6月22日に兄は漸く今までの集大成として「21世紀の理論の命波学教本」をご縁の方々の協力により晴れて出版をすることが出来ました。本当にありがとうございました。感謝申し上げます。

二人の見守る中、私の追悼講演は無事に納まる

第3部の私の話の要旨は以上のようなものでした。この兄の一周忌の追悼講演会を通じて私は心から身に余る光栄に思わず胸に合掌しました。小田野先生も兄もきつと心配しながらも喜んでいると思いました。丁度良い時間配分で私の講演は終わることが出来ました。

司会者・岡田友佳子氏よりお礼方々皆々様に感謝の拍手をさせて頂き、会場からも割れんばかりの拍手を頂きました。懇親会に45名の方々が出席そして盛り上がりました。



一致団結して講演会を開催した命波の友

「コロナ」大いなる宇宙の意図 宿谷直晃著 ヒカルランドから全国有名書店で好評発売中
お近くの書店に無い時は書名・著書名でお取り寄せください。ネットでの購入も出来ます。

終了後、命波の同志の林和也氏から「私の両側サイドに小田野先生と兄が優しいお顔をしてお二人が見守っておられましたよ」とお声をかけて頂きました。実は私も最初から二人が見守ってくれている実感がありました。

この度の講演会は多くの方々に見守られながらお導き頂き無事終えることが出来ました。有難うございました。そして次の繋がりも始まりました。感謝申し上げます。 つづく 堀尾君子

1 月 光透波セミナーのご案内

●光の言波・真理教室 (第150回記念 光透波セミナー)

●日 時 1月22日(月) PM 1:30~PM4:45
●場 所 神明いきいきプラザ 集会室 B (4F)
東京都港区浜松町1-6-7 JR浜松町(北口)地下鉄大門(B1出口)4分

●演 題 「童年の展望と、幸福へのタイムライン」 ●参加費 3,000円
●講 師 宿 谷 直 晃

●Zoom入門講座

● 1月16日(火) PM 8:00~PM10:00 「㊦平和のお話」
● 講 師 宿 谷 直 晃 ●参加費 3000円
※ お申込み、お問い合わせは宿谷へ syu98-8do8@mbr.nifty.com 090-2447-2037

●名古屋 命波学講座

●日 時 1月8日(月、祝) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第9回
●日 時 1月10日(水) PM 2:30~PM5:30 和やか会
●日 時 1月24日(水) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第11回
●日 時 1月26日(金) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第8回
●日 時 1月30日(火) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第7回
●場 所 實光透波スペース 名古屋市名東区香南1-103-8-201
●講 師 堀 尾 君 子 ●参加費 各3,000円

※ 命波学受講の日時調整可。お申し込み、問い合わせは堀尾へ 090-8499-5989

●第6回 加古川 宇宙言霊講演会

●日 時 1月13日(土) PM 1:30~PM 3:30
●場 所 加古川 寺家町 B プラス (会場の電話番号079-426-1442)
●演 題 「2024年に必要な行動」 ●参加費 ドネーション、寄付カンパ歓迎
●講 師 林 和 也 ※ 講座の申し込み先 090-8580-3776 (林まで)

※1月は、磯部賢一氏の「光透波塾」休講させていただきます。

光透波

・ 實光透波研究会	名古屋市名東区香南1-103-8-201	堀 尾 君 子	090-8499-5989
・ 光透波塾	名古屋市熱田区旗屋2-16-4	磯 部 賢 一	090-9199-0248
・ 光の言, 真理教室	東京都品川区小山6-19-5	宿 谷 直 晃	090-2447-2037
・ 光透波言霊セミナー	兵庫県播磨町西野添2-5-12	林 和 也	090-8580-3776

光透波のホームページ <http://kotohawanokai.web.fc2.com>